

令和7年度 事務事業マネジメントシート		段階： 令和6年度実施事業に係る事務事業評価					6416	商業施設等誘致活動事業					農商工部	産業雇用政策課
1 事業概要		中事業番号		808									所属コード	266000
政策体系		SDGs	広域事業	総合戦略	セーフ	2025	2030	2040	2050	D X推進	手段	意図（目的）		
大綱（取組）	I 「産業・仕事の未来」	8.3		1-1							中心市街地をはじめ、地域の活性化に寄与する商業施設等のあり方について調査・研究する。（特に本市の高速交通網の特性を活かしたインター付近等への複合施設等のあり方について検討する。）	アウトレットなどの大型ショッピングモールを誘致する。県内・県外行きのバスフルも兼ねた大型モータープールも併設、大型の屋内子どもパーク、子ども図書館 シネコンを併設できるよう条件整備を図り、民間デベロッパーと都市計画のマッチングを図る。		
施策	1 みんなが誇れる「郡山といえばこれ！」という産業があるまち													

事業開始時周辺環境（背景）		現状周辺環境		今後周辺環境（予測）		住民意向分析	
本市商業を取り巻く環境は厳しく、中心市街地をはじめ各地域の商業の活性化が必要である。		郡山南インター線沿いや郡山中央スマートインター周辺については、ほ場整備が完了した集团的優良農地であり、農業振興地域農用地区域に指定されている。また、都市計画法上は市街化を抑制すべき市街化調整区域に指定されており、法に基づき商業施設としての土地利用が規制されているが、都市計画マスタープラン及び郡山市市街化調整区域地区計画運用指針が改定され、幹線道路沿線での開発規制が緩和された。		法規制への対応が大きな課題であるが、ICTの急速な進展による電子商取引の拡大などの影響から、商業施設も単なる物販販売だけではなく、防災や子育て支援などの機能を兼ね備えた複合商業施設が求められているほか、日和田ショッピングモールフェスタが全面建替えられる一方、イトーヨーカドー郡山店が退店するなど、時代の流れに応じた商業施設のあり方を検討する必要がある。		市民提案制度などにより、アウトレットモールなど大型商業施設誘致を望む意見が定期的に出されている。	

2 事業進捗等（指標等推移）			まちづくり基本指針五次実施計画		まちづくり基本指針六次実施計画		まちづくり基本指針七次実施計画		まちづくり基本指針八次実施計画		次期実施計画		次期実施計画		まちづくり基本指針	
指標名	指標名	単位	2022年度（令和4年度）		2023年度（令和5年度）		2024年度（令和6年度）		2025年度（令和7年度）		2026年度（令和8年度）		2027年度		2028年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	計画	中間指標 2021年度	最終指標 2025年度
対象指標	市民数	人		324,586		322,515		319,680								
活動指標①	複合施設整備研究会開催回数	回	1	0	1	0	1	0	1		1		1	1		
活動指標②	先進地視察	回	1	0	1	1	1	0	1		1		1	1		
活動指標③	県との意見交換・情報収集等	回	1	10	1	5	1	0	1		1		1	1		
成果指標①	複合商業施設誘致相談件数	箇所	0	0	0	0	1	0	1		1		1	1	1	1
成果指標②	複合商業施設立地数	箇所					0	1	0		0		0	0	0	0
成果指標③																
単位コスト（総コストから算出）	活動1回あたりのコスト	千円		300		393		0	590		590		590	590		
単位コスト（所要一般財源から算出）	活動1回あたりのコスト	千円		300		393		0	590		590		590	590		
事業費		千円		0		5		0	8		8		8	8		
人件費		千円		3,001		2,354		1,272	2,354		2,354		2,354	2,354		
歳出計（総事業費）		千円		3,001		2,359		1,272	2,362		2,362		2,362	2,362		
国・県支出金		千円														
市債		千円														
受益者負担金（使用料、負担金等）		千円														
その他		千円														
一般財源等		千円		3,001		2,359		1,272	2,362		2,362		2,362	2,362		
歳入計		千円		3,001		2,359		1,272	2,362		2,362		2,362	2,362		
		実計区分	評価結果	継続	継続	継続	継続	継続	継続							

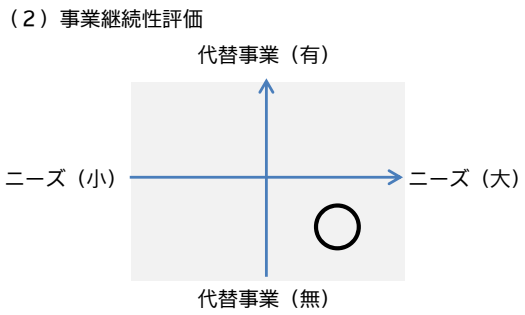
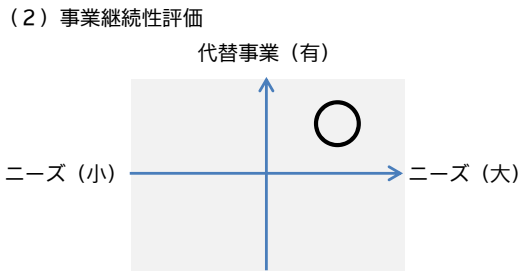
活動指標分析結果		成果指標分析結果		総事業費（事業費・人件費）分析結果	
商業施設の立地については、事業者からの立地意向・要望を踏まえ課題を整理し研究会において調査・研究することとしているが、今年度は特に新たな案件が無かったため研究会は開催しなかった。また、既存商業施設の建替えに関する県審議会についても開催が無かったが、随時情報交換を行った。		複合商業施設の立地について、2024年5月に閉店した「旧イトーヨーカドー郡山店」跡地に大型商業施設「ヨークパーク」が2025年3月にオープンし、地域経済の活性化や新たな雇用が図られた。		【事業費】 県開催の審議会出席が無かったことから事業費は皆減した。	
				【人件費】 特定小売商業施設の立地に係る溶断・要望が無かったことから人件費は減少した。	

3 一次評価（部局内評価）

(1) 事業手法評価			
1 規模・方法の妥当性		3	
2 公平性		4	
3 効率性		3	
4 活動指標（活動達成度）	活動に至っていない		
5 成果指標（目的達成度）		3	

4 二次評価

(1) 事業手法評価			
1 規模・方法の妥当性		3	
2 公平性		4	
3 効率性		3	
4 活動指標（活動達成度）	活動に至っていない		
5 成果指標（目的達成度）		3	



継続	一次評価コメント
商業施設の誘致に関しては、市民提案制度においても多数意見が寄せられており、市民のニーズ・関心が高いことは認識しているが、施設の立地に関しては、事業者の想定する商圏人口や用地の法規制など様々な課題を有している。そのような中、2024年5月に閉店した「旧イトーヨーカドー郡山店」跡地に大型商業施設「ヨークパーク」が2025年3月にオープンし、地域経済の活性化や新たな雇用が図られたところである。今後は、日和田ショッピングモールフェスタのリニューアルが予定されており、以降、現時点で新たな商業施設の誘致は予定していないが、進出意向のある企業の動向を注視し、引き続き検討していく。	

継続	二次評価コメント
商業施設の立地については、立地事業者からの立地意向・要望を踏まえ課題を整理し研究会において調査・研究することとしているが、令和6年度は特に新たな案件が無かったため研究会の開催はなかった。既存商業施設の建替えに関する県審議会についても開催がなかったものの、県との情報交換は随時実施した。 指標に設定している活動の実施はなかったものの、令和6年5月に閉店した旧イトーヨーカドー郡山店跡地に大型商業施設ヨークパークが令和7年3月にオープンし、地域経済の活性化や新たな雇用が図られたところである。 市民提案制度の中でも、立地には一定のニーズがあり、また、本市商業の振興には複合商業施設のみならず、小売商業全般の振興が必要であることから、令和4年6月に策定した「郡山市商業まちづくり基本構想」に基づき、今後も複合商業施設等の誘致を推進するため、継続して事業を実施する。	

5レス	カウンターレス	キャッシュレス	ペーパーレス	ファイルレス	ムーブレス（会議レス）

気候変動対応	D X (デジタル市役所)	部局間協奏
		○

(参考) 令和6年度カイゼンのための行動計画